

## 代幾 I 演習 (2007/07/05)

問題 128  $A, B, C$  を  $(m, n)$  行列、 $c, d$  を複素数、 $O$  を  $(m, n)$  型の零行列とした時に、次の定理を証明しなさい。

1.  $A + O = A, \quad A - A = O$
2.  $(A + B) + C = A + (B + C)$
3.  $A + B = B + A$
4.  $c(A + B) = cA + cB$
5.  $(c + d)A = cA + dA$
6.  $(cd)A = c(dA)$
7.  $1A = A, \quad 0A = O$

問題 129  $A, B$  を  $(l, m)$  行列、 $C, D$  を  $(m, n)$  行列、 $O_{p,q}$  を  $(p, q)$  型の零行列とする時に、次の定理を証明しなさい。

1.  $A(C + D) = AC + AD$
2.  $(A + B)C = AC + BC$
3.  $AO_{m,n} = O_{l,n}, \quad O_{l,m}C = O_{l,n}$

問題 130  $T$  を 3 次元ベクトル空間  $K^3$  から 2 次元ベクトル空間  $K^2$  への線型写像とし、 $e_1, e_2, e_3$  を  $K^3$  の標準基底とする。

$$T(e_1) = \begin{pmatrix} -2 \\ 3 \end{pmatrix}, \quad T(e_2) = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \quad T(e_3) = \begin{pmatrix} 0 \\ -2 \end{pmatrix}$$

の時、次を計算せよ。

$$(1) \quad T\left(\begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix}\right), \quad (2) \quad T\left(\begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 3 \end{pmatrix}\right), \quad (3) \quad T\left(\begin{pmatrix} 3 \\ 2 \\ -2 \end{pmatrix}\right).$$

問題 131

$$A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & \cdots & a_{1n} \\ a_{21} & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ a_{m1} & a_{m2} & \cdots & a_{mn} \end{pmatrix}$$

とした時、 $K^n$  の標準基底  $e_1, e_2, \dots, e_n$  に対し、 $Ae_i$  ( $1 \leq i \leq n$ ) を計算し、

$$A = (Ae_1 \ Ae_2 \ \cdots \ Ae_n)$$

となることを示せ。

問題 132  $e_1, e_2, e_3, e_4$  を  $K^4$  の標準基底とする。

$Ae_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$ ,  $Ae_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ ,  $Ae_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ ,  $Ae_4 = \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \end{pmatrix}$  となるような  $(2, 4)$  行列  $A$  を求めよ。

問題 133

$$X = \begin{pmatrix} x & 1 & 0 & 0 \\ 0 & x & 0 & 0 \\ 0 & 0 & y & 1 \\ 0 & 0 & 0 & y \end{pmatrix}, A = \begin{pmatrix} 0 & 0 & a & 1 \\ 0 & 0 & 0 & a \\ b & 1 & 0 & 0 \\ 0 & b & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

とする。区分けによる計算を用いて  $X^2, X^3, A^2, A^3, AX, XA$  を求めよ。

問題 134  $A, B, C$  を  $n$  次正則行列とする。このとき、 $(ABC)^{-1} = C^{-1}B^{-1}A^{-1}$  となることを示せ。

問題 135 次の行列  $A, B$  のうち積  $AB$  が可能なものはどれか。またそのとき  $AB$  の行の数、列の数はどうなるか。

1.  $A$  は  $(2, 4)$  行列、 $B$  は  $(2, 3)$  行列。
2.  $A$  は  $(2, 3)$  行列、 $B$  は  $(3, 3)$  行列。
3.  $A$  は  $(3, 1)$  行列、 $B$  は  $(3, 3)$  行列。
4.  $A$  は  $(1, 4)$  行列、 $B$  は  $(4, 2)$  行列。
5.  $A$  は  $(3, 1)$  行列、 $B$  は  $(1, 2)$  行列。
6.  $A$  は  $(4, 2)$  行列、 $B$  は  $(4, 2)$  行列。

問題 136 次の条件を満たす行列  $A, B$  の例を作ってみよ。

1. 積  $AB$  は定義できるが  $BA$  は定義できない。
2.  $AB, BA$  はどちらも定義できるが次数が異なる。
3.  $AB, BA$  はどちらも 2 次行列になるが、 $AB \neq BA$  となる。
4.  $AB, BA$  はどちらも 2 次行列で、 $AB = BA$  となる。

問題 137  $A$  を  $n$  次正則行列とする。 ${}^t(AA^{-1}) = {}^t(A^{-1}A) = {}^tE = E$  を用いて  $({}^tA)^{-1} = {}^t(A^{-1})$  が成り立つことを示せ。

問題 138 次の計算をせよ。

$$\begin{aligned} 1. & \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 2 & 0 & -4 \\ 3 & -2 & 6 \end{pmatrix}, & 2. & \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 1 & 0 \\ -3 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & -2 & -5 \\ 3 & 4 & 0 \end{pmatrix}, \\ 3. & \begin{pmatrix} 1 & 3 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} -1 & 2 & 4 \\ 0 & -1 & 3 \\ 2 & -2 & 3 \end{pmatrix}, & 4. & \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ -1 \\ 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} -3 & 5 & 2 \end{pmatrix}, \end{aligned}$$

問題 139  $A = \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5 & 2 & -4 \end{pmatrix}$  とする。行列の積の結合法則を利用して  $A^5$  を計算せよ。

問題 140

$$A = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 2 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 2 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 2 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 2 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & -1 \\ 1 & 0 & 0 & 0 & 2 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 2 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 2 \end{pmatrix}$$

の時、次の行列の計算をしなさい。

1.  $AB$ , 2.  $BA$  3.  $A^2$ , 4.  $B^2$

問題 141

$$A = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \end{pmatrix}, \quad C = \begin{pmatrix} \lambda & 0 & 0 \\ 0 & \lambda & 0 \\ 0 & 0 & \lambda \end{pmatrix}, \quad D = \begin{pmatrix} 1 & \lambda & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

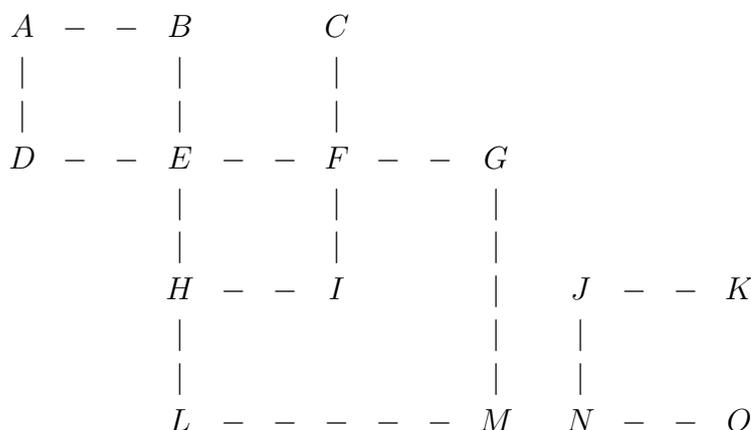
の時、次の行列の計算を行いなさい。

1.  $AB$ , 2.  $BA$ , 3.  $AC$ , 4.  $CA$ , 5.  $AD$ , 6.  $DA$

問題 142  $E = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, J = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$  とおく。

1.  $J^2, J^3, J^4, J^5$  を求めよ。  
2. 二項定理を利用して  $(E + J)^{10}$  を求めよ。

問題 143 次の図の様に、A ~ O の間に道がある時に次の問に答えなさい。



1. 行列  $X = (x_{\alpha\beta})$  (但し  $\alpha = A \sim O, \beta = A \sim O$ ) とし、

$$x_{\alpha\beta} = \begin{cases} 1 & (\alpha \text{ と } \beta \text{ の間に道がある時}) \\ 0 & (\text{それ以外}) \end{cases}$$

と定める時 (例えば、A と B の間には道があるので  $x_{AB}$  は 1、A と C の間には道がないので、 $x_{AC}$  は 0 となる) の  $X$  を求めなさい。

2.  $Y = (y_{\alpha\beta}) = X^2$  とした時に、 $y_{\alpha\beta}$  の値は、どんな意味を持つか？  
3. D から、丁度 4 回、道を渡った時に到達する (但し、同じ場所や同じ道を何度通っても良いとする) ことができる場所はどこどこか？ また、その時、そこに到る道の種類は全部で何通りか？